

(平成 29 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：「京の米オリジナル品種開発事業」

研 究

早生良食味水稻有望系統の収穫

農林センターでは、本年度から農研機構中央農業研究センター北陸拠点と共同で、高温でも品質低下しにくく、食味の良い京都オリジナル水稻品種の育成に取り組んでいます。

本年は、6 月後半から 8 月まで高温傾向で推移したため、コシヒカリの出穂が平年より 1 週間近く早まりました。供試した 11 系統の品種候補もコシヒカリとほぼ同時期に出穂し、9 月 11 日までに全て収穫を終えました。

今後、収量、玄米品質、食味について調査し、有望系統を選抜していきます。

今回の早生新品種育成の取り組みについては、コシヒカリに替わる京都府の主力品種となるよう研究を進めているため、日本経済新聞で紹介される等メディアからも注目を集めており、温暖化に適応した高品質米生産への期待が窺えます。



早生良食味水稻有望系統の収穫風景

農林センター